

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム第18回運営委員会議事要旨

- 1 日 時：令和7年3月6日（木）11時00分～11時45分
- 2 場 所：オンライン（Zoom）
- 3 出席者：寶（会長）、甘利（副会長）、遠藤（副会長）、柳生、松本（狩矢委員代理）、小山（晃）
（秋山委員代理）、林、真城、小山（覚）、長瀬、舟橋（星川委員代理）、安部、福島、玄地、
岡部（山際委員代理）、Li、岡島
陪席者：小松原（セコム）、橋本（NFLabs.）、真城（DRI）、横井（産総研）、松室（防災科研）、
松本（〃）、田代（〃）、干川（筑波大学）、増田（〃）、酒井（〃）、根本（〃）
(敬称略)

4 議事

I. レジリエンス研究教育推進コンソーシアムに係る事案

【審議事項】

- (1) 株式会社エヌ・エフ・ラボラトリーズの入会について
遠藤副会長から、資料1-1～1-2に基づき説明があり、正会員として入会が承認された。
承認後、小山氏から挨拶があった。
- (2) コンソーシアム運営委員会委員について
遠藤副会長から、資料2-1～2-2に基づき新規就任する委員について説明があり、承認された。
・エヌ・エフ・ラボラトリーズ：小山 覚 氏（以降の議事から委員として出席）
- (3) 会長及び副会長の任期に関するコンソーシアム規約の改正について
遠藤副会長から、資料3-1～3-2に基づき規約を改正する旨の説明があり、承認された。
・会長が任期中に欠けた場合、後任会長及び副会長の任期を新たに開始する
・副会長が任期中に欠けた場合、後任副会長の任期を前任者の残任期間とする
- (4) 会長及び副会長の選出について
寶会長及び遠藤副会長から、資料4に基づき説明があり、互選により次のとおり決定した。
※任期：令和7年4月1日～令和9年3月31日
・会長（コンソーシアム規約第7条第2項）：
寶 馨 氏（国立研究開発法人防災科学技術研究所理事長）
・副会長（コンソーシアム規約第7条第3項）：
甘利 康文 氏（セコム株式会社IS研究所リスク・マネジメントグループリーダー）
遠藤 靖典 氏（国立大学法人筑波大学システム情報工学研究群長）
- (5) 令和7年度活動計画（案）について
遠藤副会長から、資料5に基づき説明があり、承認された。
- (6) コンソーシアムの日本ネットワークセキュリティ協会入会について
遠藤副会長から、資料6に基づき説明があり、特別会員として入会申込することが承認された。
続いて、紹介者である甘利副会長から、同協会の活動内容について補足説明があった。

(7) その他

遠藤副会長から、以下の企業が入会検討している旨の説明があり、手続きを進めることが承認された。

- ・株式会社モリタホールディングス（消防車両メーカー） <https://www.morita119.com/>

【報告事項】

(1) 第2回キャリアマッチングデーの開催について

遠藤副会長から、資料7に基づき、次の説明があった。

- ・開催日：6月5日（木）13:00-16:00（筑波大学で開催）
- ・各参画機関に積極的に参加願いたい

(2) 巨大災害研究会・R2EC 合同シンポジウム開催報告（R7.2.28）

遠藤副会長から、資料8に基づき開催報告があった。

(3) 第30回幹事会開催報告（R7.2.10）

遠藤副会長から、資料9に基づき開催報告があった。

(4) その他

特になし。

II. 筑波大学リスク・レジリエンス工学学位プログラムに係る事案

【審議事項】

(1) その他

特になし。

【報告事項】

(1) 令和7年度協働大学院教員及び非常勤講師について

岡島委員から、資料10-1～10-2に基づき次の報告があった。

- ・協働大学院教員：電力中央研究所・山本教授の後任として上野准教授が4月1日着任予定
- ・非常勤講師：全員継続予定

(2) その他

➤ 学位プログラムオープンキャンパスの開催について（4月20日）

岡島委員から、つくば市の科学技術週間に合わせ、4月20日（日）に開催する旨の説明があった。

併せて、實会長から、4月19日（土）に防災科研の一般公開を行う旨の告知があった。

➤ 令和6年度修了者及び令和7年度入学者（コンソーシアム関係）について

岡島委員から、次の報告があった。

- ・令和6年度修了者

博士後期課程：修了者6名のうち2名が協働大学院教員を主査、2名副査として学位取得

- ・令和7年度入学者

博士後期課程：10月のシンポジウム参加をきっかけに1-2月期入試に出願した2名が入学予定

併せて、博士前期課程でも、多くの協働大学院教員の協力により協働大学院方式による教育体制が拡充していることについて謝意が述べられた。